

—山形県・酒田港— イカ釣り船団出航式
いかのまち酒田をアピール

6 月 14 日、中型イカ釣り船団の出航式典が、酒田港袖岡埠頭で行われ、当日は日本海で操業する山形船友漁労長会の 3 隻が大漁旗をなびかせ集結した。出航式は、2006 年から酒田市と山形県漁業協同組合の主催で行われ、市民などに「いかのまち酒田」や山形県の水産業をアピールする場となっている。

雨降る中の式典となったが、主催者である本間昭志組合長（山形県漁業協同組合）、矢口明子酒田市長のあいさつ後、来賓として高橋健二水産局長が紹介された。

本間健山形船友漁労長会会長（第八十六若潮丸・漁労長）は「昨今の日本海での操業は不漁が続いているが、航海の安全と大漁に乗組員一同頑張りたい」とあいさつした。

式典後、各船の岸壁前には乗組員と家族や関係者の出航を祝う席が設けられ、大漁と航海の安全を願うお神酒が振る舞われた。また、出店が設けられており食事を楽しむ家族も見受けられた。

船団は、太鼓が演奏される中、家族や式典に参加した大勢の関係者に見送られ、漁場へ向けて酒田港を出港した。

「海員だより」